

『心豊かで活力に満ちた生徒の育成』



佐世保市立日野中学校

校長 富永 仁

生徒数 379名 学級数15

所在地 佐世保市日野町2079番地

1 校訓



- ◎『すべての人を愛する』
- ◎『自分から先に愛する』
- ◎『相手を自分のように愛する』
- ◎『相手と自分を一つに』

- (1) 思いやりの心を大切にし、生き抜く力のある生徒の育成
- (2) 自ら目標を持ち、進んで学び、自ら考え、正しい判断ができる生徒の育成
- (3) 心身ともに健やかな生徒の育成
- (4) 人間の尊厳を重んじ、人権を考える生徒の育成
- (5) 勤労を貴び、郷土を愛する生徒の育成

【日野中学校の一校一徳】

- 『み』…身なりや服装を整える
- 『そ』…掃除を進んで行う（ゴミ拾い）
- 『あ』…あいさつを進んで行う
- 『じ』…時間を守る



〔歓迎遠足のゲームで笑顔を見せる新入生〕

2 実践内容

(1) 部活動の活躍

本校では、開校当時から各部活動において、佐世保市内はもとより長崎県大会・九州大会さらには、全国大会において優秀な実績を収めている。

今年度も、例年に見劣りすることなく様々な部活動で優秀な成績を残してくれた。佐世保市中学校体育大会を突破し、県大会へ駒を進めた部活動は5団体を数えた。夏季大会においては、軟式野球部、男子バスケットボール部、男女バドミントン部、女子バレーボール部の4団体が出場した。また、個人戦においても新体操部、男女バドミントン部が県大会へ出場し日野中学校



〔全国大会で活躍する軟式野球部〕

運動部活動の底力を見せてくれた。特に男子バスケットボール部は県大会優勝、軟式野球部は準優勝し九州大会に出場した。また、軟式野球部は九州大会で3位となり全国大会へ出場した。

文化部の活躍もめざましく、吹奏楽部は長崎県吹奏楽コンクール地区大会で見事金賞を受賞し、県大会では奨励賞を受賞した。美術部においては子ども県展立体部門県知事賞や九州・山口地区中学生海の絵画コンクールにおいて、銀賞や銅賞への入賞者を出した。

(2) 心の教育・保健学習会「性教育講演会」「薬物乱用防止教室」「S C講話」「スマホ・ケータイ安全教室」「キャリア教育職業講話」

第3学年及び保護者を対象に、助産師 山口 沙織 氏による「性教育講演会」を実施した。生まれ来るいのちの神秘について3年生は、真剣な態度で話に聞き入り、自他のいのちを大切にす
る思いを改めて強くした。

第2学年及び保護者を対象にした「薬物乱用防止教室」では、薬物依存症から立ち直る方々の
支援を行っている、NPO法人長崎ダルクの会から、中川 賀雅 氏をお呼びし、自身の経験にも
とづいたお話を聞いた。生徒はその生々しい話から、薬物に手を染めない人生を歩むよう、心を
強く持つことを心に誓っていた。

「スマホ・ケータイ安全教室」では、第2学年及び保護者対象に、携帯電話・スマートフォンの
利便性の陰に潜む使用上の危険性について学習した。不用意なSNSへの投稿や書き込みが簡
単に人を傷つけてしまうことや拡散の速さから一生その投稿や書き込みが削除できないことに生
徒は使用する者の心がけが一番大切であることを痛感していた。

「キャリア教育職業講話」では、第1学年を対象に、多様な
業種から講師を招聘し、仕事への思いややりがい話を話して
いただいた。苦労もあるがその仕事への誇りを持って仕事に打ち込
んでおられる方々のお話で生徒は、自分の夢の実現のために行
っている仕事であるが、そのことが周りの人を幸せにすること〔職業講話で積極的に質問する生徒〕
であり、感謝の気持ちを常に持って生きていくことが重要であることを気付かされていた。講話
後はそれぞれが職業調べを行い壁新聞に学習したことをまとめ校内に掲
示した。



(3) 「地区懇談会」一斉開催

昨年度までは各地域の公民館で開催していた「地区懇談会」を本校体育館で一斉開催とした。
より多くの保護者や地域の方に参加していただくことと、授業参観時の学年・学級懇談会での学
校からのお知らせ事項の重複を避けるために改善を試みた。

話し合いの形態も地域、家庭、学校がより一層活発に意見交換できるよう、長崎県ファミリー
プログラムを活用し、PTA役員がファシリテーターを務め、協議を進めた。ファシリテーター
の巧みな進行のもと、和やかな中に真剣な話し合いが行われ、三者が共通して育てたい日野っ子
像を共有し、思いやりのある子どもを育てるための方策を模索した。それぞれが情報を共有し、
大人の姿が子どもを変えていくとの共通認識のもと子どもに接していくことが大切であることを
改めて心に刻んだひとときであった。

(4) 地域行事への参加

本校校区は、地域行事がたいへん盛んで、吹奏楽部が「相浦地区公民館まつり」、「日野・相浦
地区年末安全防犯パレード」に参加し、地域の方々に喜ばれている。日頃の練習の成果を披露し、
地域行事に花を添えることにより、地域の学校として親しまれる存在となっている。

本年度は佐世保の春を告げる「愛宕祭り」の「飯盛神社参道駆け上がり大会」に生徒が参加し
た。子どもから大人まで約250名の参加の中で、本校中学生も一生懸命に走り、地域に笑顔
を届けることができた。

(5) 学力向上対策

①放課後学習会

Web教材（みんなの学習クラブ）を活用した教材作成により、国語、数学、英語の3教科について全職員で習熟度別の放課後学習会を実施した。25分間の短時間ではあるが、全職員が一斉に教室指導に当たるため、個に応じた指導ができ、定着が不十分な生徒の基礎学力向上につながった。



②家庭学習の習慣化へ向けた支援

本年度から、生徒一人一人に「みんなの学習クラブWeb版」のIDを配付し、生徒が家庭でインターネットで自分の学習進度に合わせた学習プリントをできるように環境整備した。インターネット環境のない家庭の生徒のためには、長期休業日や放課後にパソコン室を開放し自主学習をできるようにした。今後は、授業と連動した取組を行い活用頻度を上げ、家庭学習の習慣化を図るとともに学力向上につなげたい。



3 成 果

- (1) 生徒が自分の役割をしっかりと果たし、運動部、文化部ともに熱心に練習している。そのことから、学校が活気に満ち、落ち着いた態度で生徒が学校生活を送っている。
- (2) 各学年で開催される講話で、真剣な態度で聞く生徒の姿があり、[堂々と意見を述べる生徒] 大人の生き方から学ぼうとする意欲が感じられる。特に、1年生で行った職業講話では、適切な職業観を育むために有効であり、2年生で行う職場体験学習とのつながりを持つことができるので、学びの連続性が確保できる。
- (3) 放課後学習で活用しているWeb教材は、生徒のそれぞれの進度に合わせた教材が作成可能であるため、学力の底上げにつながっている。また、生徒一人一人にIDを配付したことで、より一層生徒自身の能力に応じた学習が可能となった。

4 今後の課題

- (1) 「朝のあいさつ運動」により、本校一徳運動「身なり・掃除・挨拶・時間を守る」の中の挨拶の実践を行っている。校内では元気の良い挨拶が行われており、さわやかな学校づくりができていますが、校区地域では、挨拶が不十分であるとの声も聞かれるので、今後も取組を継続し、場を選ばずさわやかな挨拶ができる生徒の育成に努めたい。
- (2) Web教材のIDを生徒一人一人に配付し、生徒が家庭等で自分の進度に合わせて学習をできるように環境を整備したが、活用が不十分であった。来年度は、授業と連動した取組を行い活用頻度を上げ、家庭学習の習慣化を図るとともに、より一層の学力向上につなげたい。